

「戦後 80 年」、その先へ 戦争の記憶を後世に伝える 「戦争の記憶 横浜と軍隊の 120 年」 展覧会開催のお知らせ 発掘された遺跡・景観・モニュメントからたどる

横浜都市発展記念館では、令和 8 年 1 月 24 日（土）～4 月 12 日（日）の会期で、展覧会「戦争の記憶－横浜と軍隊の 120 年」を開催します。

戦後 80 年の節目に当館が実施する最後の企画となる本展は、埋蔵文化財センターと合同で開催いたします。展示では地域に残された遺跡や景観、モニュメントなどから横浜と軍隊の関係、過去の戦争の記憶について紹介します。

1945（昭和 20）年の第 2 次世界大戦の終結から 80 年を迎えました。この間、日本は戦争のない時代を過ごすことができ、80 年間という時間は、1868（明治元）年の戊辰戦争から西南戦争、日清戦争、日露戦争、第 1 次世界大戦、満洲事変、日中戦争、そして第 2 次世界大戦の終結までの 77 年間を越える時間でもあります。戦争体験者は少なくなり、話を聞くことがすでに困難な状況になっています。

地域に目を転じると、神社や寺院、公園、さらに景観には、近現代の戦争を語る“モノ”、痕跡などが数多く残っています。これらは地域に刻まれた「戦争の記憶」です。

本展示では、公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センターの発掘調査成果と、これまでの横浜開港資料館および横浜都市発展記念館、横浜市史資料室の研究成果を踏まえつつ、1853 年の黒船来航から 1975 年のベトナム戦争終結までのおよそ 120 年を対象に、地域に残る遺跡や景観、モニュメントなどから横浜と軍隊との関係、さらに過去の戦争の記憶を追いかけていきます。本展示が都市横浜の近現代史を考える一助になるとともに、地域に残された歴史の痕跡を見直す契機になれば幸いです。



横浜都市発展記念館 令和 7 年度特別展 × 埋蔵文化財センター 令和 7 年度「横浜の遺跡展」

「戦争の記憶 横浜と軍隊の 120 年」【基本情報】

会 期：2026（令和 8）年 1 月 24 日（土）～4 月 12 日（日）

開館時間：9:30～17:00（券売は 16:30 まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）

主 催：横浜都市発展記念館・埋蔵文化財センター〔公益財団法人横浜市ふるさと歴史財団〕

共 催：横浜市教育委員会・横浜開港資料館

後 援：朝日新聞横浜総局・神奈川新聞社・産経新聞社横浜総局・東京新聞横浜支局・毎日新聞社横浜支局・読売新聞横浜支局・NHK 横浜放送局・t v k・FM ヨコハマ・学校法人國學院大學

協 力：横浜市史資料室 横浜ユーラシア文化館

観覧料：一般 800 円、小中学生・市内在住 65 歳以上 400 円

毎週土曜日は小中学生・高校生・大学生は無料です。

プレス向け内覧会

日 時：2026 年 1 月 23 日（金） 14:00～（受付 13:30～） ※詳細は後日お知らせいたします。

展示構成 —おもな展示資料と見どころ—

横浜都市発展記念館内の3会場からなる本展示会見どころを紹介します。

●第1会場 横浜の軍事施設Ⅰ（海軍編）

〔担当：埋蔵文化財センター 会場：1階ギャラリー〕

横浜市内で発掘された海軍の遺跡

軍都東京と軍港都市横須賀に挟まれた横浜には、その立地から多くの戦争関連遺構が残っています。特に横須賀と隣接する市内南部は、横須賀鎮守府一帯に組み込まれ、多くの海軍関連遺構が残存しています。調査の写真や図面をもとに、今なお身近に存在する遺構について紹介します。

●第2会場 横浜と軍隊の120年

〔担当：横浜都市発展記念館 会場：3階企画展示室〕

横浜と軍隊の関係を正面から捉えた研究の成果

江戸時代の開港から明治期、関東大震災や満洲事変などの、大正～昭和戦前期、敗戦と接收などによる影響を大きく受けた昭和戦後期など、時代ごとのターニングポイントを捉えながら、これまで正面から取り組んだ研究が見られなかった横浜と軍隊の関係について紹介します。

●第3会場 横浜の軍事施設Ⅱ（陸軍編）

〔担当：埋蔵文化財センター 会場：4階常設展示室一部〕

横浜市内で発掘された陸軍の遺跡

東京や横須賀、相模原に囲まれた地勢の横浜には、軍事施設や軍需工場が多く、帝都防衛のための防空網の南翼を担っていました。多くの横浜の陸軍施設はこうした防空関係の陣地ですが、米軍の上陸作戦に備えて配備された機動兵団の戦車壕や、田奈の弾薬庫などもありました。近年の発掘調査などを中心に最新の研究成果を紹介します。



日露戦争記念の砲弾狍犬
南区・お三の宮日枝神社



陸軍特別大演習時の両軍位置要図（於十一月十九日午前十一時）1921（大正10）年『大正十年 特別大演習記事 第一巻（作戦）』防衛研究所戦史研究センター史料室所蔵



本町通りを行進するアメリカ軍の車両
1953（昭和28）年 奥村泰宏撮影
横浜都市発展記念館所蔵

関連企画のご案内

展示解説 展示会を担当した調査研究員が見どころを解説します。

日 時：1月25日（日）、2月8日（日）、3月15日（日）、

20日（金・祝）、4月5日（日）、12日（日）

※いずれも13:30～14:15 45分程度

会 場：横浜都市発展記念館 企画展示室

参加費：無料（特別展観覧券が必要です）

申 込：事前申込不要。当日直接会場にお越しください。



舞岡熊之堂遺跡・照空中隊本部の発掘現場 埋蔵文化財センター所蔵

関連講座『開港都市・横浜と2つの軍事拠点』 担当調査研究員が展示会の内容を深掘りする講座です。

第1回：「巨大軍都・東京と横浜」 第2回：「軍港都市・横須賀と横浜」

日 時：第1回 2月21日（土）、第2回 3月21日（土） 各回13:30～15:00 予定

会 場：横浜開港資料館 講堂 ※会場は横浜都市発展記念館ではありません。

講 師：吉田律人（横浜都市発展記念館主任調査研究員）

定 員：各回先着50名 参加費：各回1,000円・要申込

申込方法：横浜都市発展記念館イベント申し込みページより

記念シンポジウム「地域に眠る文化資源の発掘と活用 —横浜市域の“戦争の記憶”を中心に—」

「戦争の痕跡（遺跡・景観・モニュメント）」を題材に、地域に眠る文化資源の発掘と活用を提示します。

日 時：3月7日（土） 13:30～17:00 共 催：國學院大學研究開発推進機構

会 場：國學院大學横浜たまプラーザキャンパス1号館1503教室（講堂）

定 員：先着200名 参加費：無料・申込不要

お問い合わせ

横浜都市発展記念館：副館長：青木祐介 展示担当調査研究員：吉田律人 広報担当：亀岡博子

TEL045-663-2424

*画像データをご要望の場合は広報担当までご連絡ください。